

令和 7 年 1 2 月三木市教育委員会（定例会）会議録

1 開催日程

- (1) 開 会 令和 7 年 1 2 月 1 9 日（金）午後 2 時
(2) 閉 会 令和 7 年 1 2 月 1 9 日（金）午後 3 時

2 場 所 三木市役所 5 階 大会議室

3 議事日程

- 第 1 会議録署名委員の指名について
第 2 会議録の承認について
第 3 会議の公開・非公開の決定について
第 4 第 1 0 号議案 三木市立小学校、中学校及び特別支援学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について
第 5 協議事項 1 7 令和 8 年度の予算編成に係る教育予算について
第 6 報 告 事 項 各課（室）の所管事項について
第 7 その他
第 8 次回定例会の開催日程について

4 出席者

教 育 長	大 北 由 美
委 員	石 井 ひろ美
委 員	梶 正 義
委 員	稲 見 秀 行
委 員	西 岡 愛

5 欠席者 なし

6 事務局出席者

教 育 総 務 部 長	森 田 眞 規
教 育 振 興 部 長	山 口 正 明
教 育 総 務 課 長	田 中 栄 一
教 育 施 設 課 長	大 塚 芳 徳

生涯学習課長	大西武宏
文化・スポーツ課長	大西良門
学校教育課長	武内克朗
教育センター所長	小池宏尚
小中一貫教育推進室長	仲谷淳
教育・保育課長	荒田知宏
教育総務課係長	三觜牧恵
図書館主査	辻本美保
教育総務課主任	富岡憲登

7 傍聴者 なし

開 会

教育長が、令和7年12月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長が、三木市教育委員会会議規則第28条の規定により、本日の会議の会議録署名委員に、石井委員及び西岡委員を指名した。

日程第2 会議録の承認について

教育長が、令和7年11月定例会（21日開催）及び臨時会（14日開催）の会議録について委員に諮り、全員一致で承認された。

日程第3 会議の公開・非公開の決定について

教育長が、議事の進行について委員に諮り、協議事項17「令和8年度の予算編成に係る教育予算について」は、意思形成過程にあるものであり、公にすることにより不当に市民の間に混乱を生じさせるおそれがあることから、三木市教育委員会会議規則第5条第1項ただし書の規定

により、非公開で審議することについて同意された。

日程第4 第10号議案 三木市立小学校、中学校及び特別支援学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について

○武内学校教育課長が次のように説明した。

三木市立小学校、中学校及び特別支援学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について、三木市教育委員会の権限に属する事務の一部の教育長への委任等に関する規則第2条第1項第1号の規定により、委員会の議決を求める。

制定理由について説明する。

本市では、小学校3年生からの外国語活動の創設及び小学校5年生からの外国語の教科化に伴う年間標準授業時数の増加に対応し、学習指導要領に即した教育課程を実施するため、令和2年度から長期休業期間中の授業日設定を試行してきた。

更に、令和4年度からは、中学校3年生の授業時数を確保するため、卒業式を高等学校入試後に実施するなど、教育課程の工夫改善を進めてきた。

加えて、令和6年度からは、新年度の始業に向けた教材整備や校務分掌の調整等の準備に要する期間を確保するため、第1学期の始業日を4月8日として試行してきた。

その結果、長期休業期間中に授業日を設定しなくとも、標準授業時数を十分に確保できる見通しが得られた一方で、新年度の準備期間については試行のとおり確保する必要があると判断したため、所要の改正を行うものである。

教育長が第10号議案について採決を行い、原案のとおり可決された。

日程第6 報告事項 各課（室）の所管事項について

（1）教育総務課報告事項

○田中教育総務課長が次のように報告した。

「第4期三木市教育振興基本計画」（案）に係るパブリックコメントの募集を11月25日から12月26日まで実施している。

募集結果については、令和8年1月の教育委員会会議で報告する。

(2) 教育施設課報告事項

○大塚教育施設課長が次のように報告した。

学校施設の工事等の進捗状況について、11月から変更のあった主な箇所について説明する。

広野小学校防犯対策施設整備工事（オートロック）は、11月28日に完了した。

自由が丘東小学校、三木中学校及び別所中学校の防犯対策施設整備工事（オートロック）はいずれも予定どおり進行中で、12月26日までに完了する。

(3) 生涯学習課報告事項

○大西生涯学習課長が次のように報告した。

第1回三木市総合教育会議を12月19日に市役所で開催した。公民館を拠点とした社会教育の推進について議論された内容を基に、今後も事業を進めていく。

令和7年度三木市二十歳の祝典を1月11日に文化会館で開催する。

(4) 図書館報告事項

○辻本図書館主査が次のように報告した。

「クリスマスおはなし会&工作」を12月6日に中央図書館で、13日に青山図書館でそれぞれ開催し、参加者はそれぞれ20人、27人であった。

「すくすくのクリスマスおはなし会」を12月14日に吉川図書館で開催し、参加者は21人であった。

次に、図書館アプリの運用開始について説明する。

9月に実施した新図書館システムの導入に伴い、「自治体図書館向けアプリ『e-Lism』（イーリズム）」の運用を1月5日から開始する。

主な機能は次の3点である。

1点目は図書館利用カードのバーコードをアプリ画面上に表示することができ、スマートフォンで図書館資料の貸出しが可能となること、2点目は読んだ本や読みたい本の読書管理が可能となること、3点目はログイン不要で自分の借りた本などが分かるマイページへのアクセスが可能となることである。

同アプリはスマートフォンで二次元バーコードを読み込む、または、アプリストアからダウンロードすることで利用できるが、一度は図書館の窓口で図書カードを作る必要がある。

アプリのアイコンは、三木市出身のイラストライターであるこゆり氏がデザインした。

これまでは図書館のホームページから希望する本を検索する必要があったが、アプリ上で本の検索及び予約ができるようになり、手軽に図書館サービスを利用できるようになる。

定例で実施する事業については、年末年始の休館と実施日が重なる場合は実施しない。

なお、年末年始の休館は、青山図書館及び自由が丘図書コーナーが12月28日から1月4日まで、中央図書館及び吉川図書館が12月29日から1月3日までである。それに伴い、各館において12月14日又は15日から貸出件数及び貸出期間を変更している。

(西岡委員) よく図書館を利用しているので、アプリができるのを楽しみにしていた。カードを忘れて本を借りられなかったことがあるが、アプリであればスマートフォンを利用して借りられるのでありがたい。

また、ログインが不要ということも手間が省けてよい点である。

予約はアプリからできるが、図書館が所蔵していない本のリクエストはこれまでどおり窓口で行うという認識でよいか。

(辻本図書館主査) お見込みのとおりである。

(5) 文化・スポーツ課報告事項

○大西文化・スポーツ課長が次のように報告した。

企画展関連イベントとして、三木市出身の渡邊大門氏による企画展特別講演会「細川荘と冷泉家」を12月13日にみき歴史資料館で開催し、参加者は65人であった。

ふれあい文化の祭典として、「和太鼓フェスティバルin三木」を11月30日に文化会館で開催し、市内の太鼓チームは3団体参加した。

文化会館への委託事業「第37回第九演奏会」を12月7日に文化会館で開催し、来場者は約900人であった。

「第33回アンサンブルコンサート」を1月12日に文化会館で開催する。市内の中学校4校の吹奏楽部を含む11団体が出演する。

1月中旬から2月上旬にかけて開催される中学校の入学説明会で、地域クラブ「みきティブ」の活動内容を説明する。なお、「みきティブ」は現在26クラブを認定し、中学生41人が活動している。

(6) 学校教育課報告事項

○武内学校教育課長が次のように報告した。

コミュニティ・スクール研修会を11月21日にサンライフ三木で開催し、令和8年度からの小学校への導入に向け、委員候補者を対象としたワークショップを実施し、熟議の実践的な研修を行った。

修学旅行について、三樹小学校が11月24日及び25日に実施し、これにより令和7年度の修学旅行が無事に終了した。

第9回定例校園長会を11月26日に教育センターで開催し、主に児童生徒の問題行動等について、全国や県の状況と比較しながら、本市における傾向や今後の対策等について説明した。特に、暴力行為については、全国的に増加傾向にあるため、学校における日常的な関わりの中で、人間関係づくりや自己理解を支える教育的対応の充実が重要であると改めて考えている。今後は更に、児童生徒が自ら感情を適切に調整し、他者と建設的に関わっていく力を育てることを重点に、挨拶や対話を基盤とした発達支持的な生徒指導を推進し、学校全体で暴力行為の未然防止と早期対応に取り組んでいきたい。

また、UMUの「Performance Learning Award 2025」のラーニングデザイン賞の受賞報告も行った。概要としては、学校教育課が推進している「オンライン学習システムを活用した教員研修プログラム」が、UMUテクノロジージャパンが主催するアワードで審査の結果、「ラーニングデザイン賞」を受賞したというものである。

本アワードは、研修内容を「成果」に結び付けた全国の取組を表彰するものであり、本市の受賞理由は、オンライン研修を活用し多忙な教員の負担を軽減しつつ、「教育の質」を高めるべく教員同士が深く学び合う仕組みを設計した点である。先進の民間企業と並び、公教育の分野で高く評価された。今後の展望としては、コンテンツの充実や実践交流の場として更なる活用を検討していきたいと考えている。

(7) 教育センター報告事項

○小池教育センター所長が次のように報告した。

教育センターが実施した事業について報告する。

1 1月の教育相談の状況について、不登校に関する相談は4件であった。また、みっきいルームの見学も1件あった。

1 2月19日開催の第1回三木市総合教育会議でタブレット端末の活用事例について報告した。

続いて、三木市教育DX推進アドバイザーの委嘱について報告する。

教育DX、いわゆるデジタルトランスフォーメーションを進めるため、坂本良晶氏を三木市教育DX推進アドバイザーに委嘱した。

委嘱期間は、令和7年12月1日から令和9年3月31日までである。

坂本氏は文部科学省の学校DX戦略アドバイザーも務めており、その知見と発信力は本市のDX推進に大きく寄与すると考えている。

今後はICTを活用した学びや校務の効率化に関する助言を受け、本市のDX化を進めていく。

次に、青少年センターについて報告する。

第2回学校・警察・事業者連絡会を11月27日に教育センターで開催し、各学校、大型量販店、警察及び行政が最近の子どもたちの様子について情報を共有した。

(石井委員) みっきいルームに通っている生徒について、進路の悩みなどが出てくる時期ではないかと考えるが、令和7年度の状況についてお聞きしたい。

(小池教育センター所長) 自分の進路について真剣に考え、みっきいルームの指導員に相談する機会が以前に比べ増えている。

(8) 小中一貫教育推進室報告事項

○仲谷小中一貫教育推進室長が次のように報告した。

吉川地域義務教育学校設置に係る基本計画策定業務プロポーザルについて、応募数が4者以上あったことから、「三木市吉川地域義務教育学校設置に係る基本計画策定業務プロポーザル実施要領」に

基づき、１２月１０日に一次審査を実施した。１２月２２日に二次審査を実施し、年内に業者を決定する。

詳細については、業者の決定後に報告する。

（８）教育・保育課報告事項

○荒田教育・保育課長が次のように報告した。

三木市保育者及びアフタースクール支援員合同人権研修を１１月２９日に教育センターで実施し、参加者は、認定こども園及び幼稚園の保育者４６人、アフタースクールの支援員及び補助員２７人、合計７３人であった。武庫川女子大学の倉石哲也教授を講師に招へいし、「子どもの安心と信頼を育む教育・保育～愛着形成を支えるかかわり～」をテーマに、愛着の発達、自閉症スペクトラムの愛着特性、注意すべき職場環境及びチーム力を高める点について講演があった。また、児童福祉法が令和７年１０月１日から改正され、保育所等の職員による虐待に関する通報義務が生じたことについても説明があった。

第１回保育者実践交流研修（乳児保育）を１月１４日に神和認定こども園で実施する。各民間園から１人ずつ参加し、０～２歳の保育を見学した後、意見交換を行う。なお、第２回の同研修は、２月にあけぼの認定こども園で行う。

「三木市教育委員会指定 就学前教育・保育研究会」を１月２８日に市民活動センターで開催する。えびす認定こども園が、令和６年度及び令和７年度に「共に育ちあうために～一人一人の育ちに視点を当てた保育を考える～」をテーマに研究したことについて発表を行う。また、合同会社「笑育ＬＡＢＯ」の百瀬和夫代表による講演を行う。

日程第７ その他 なし

日程第８ 次回定例会の開催日程について

教育長が、次回の教育委員会定例会の開催について諮り、令和８年１月１６日午後２時から開催することを決定した。

(非公開)

日程第 5 協議事項 1 7 令和 8 年度の予算編成に係る教育予算について

協議事項 1 7 は、三木市教育委員会会議規則第 5 条第 1 項ただし書の規定により非公開で審議したため、同規則第 3 1 条の規定により内容については記載しない。

閉 会

教育長が、令和 7 年 1 2 月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。

【令和 7 年 1 2 月三木市教育委員会定例会会議録】

教育長

署名委員

署名委員

記録者
